

総 会 次 第

1. 開 会

2. 資 格 審 査 報 告

3. 議 長 選 出

4. 議事録署名人選出

5. 議 事

第1号議案 平成 30 年度事業報告について

第2号議案 平成 30 年度決算報告について

第3号議案 平成 30 年度の監査結果について

第4号議案 平成 31 年(令和元年)度事業計画書(案)について

第5号議案 平成 31 年(令和元年)度活動予算書(案)について

第6号議案 理事・監事の改選(案)について

6. その他

7. 閉 会

第18回 通常社員総会

議案書

月 日 令和元年5月29日(水)

場 所 札幌市民ホール

時 間 13時30分～



NPO 法人 シーズネット

平成 30 年度事業報告書

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

1. シーズネットの理念を普及させ、活動への賛同者を増やす

シーズネットの理念をアピールするため、新入会員へのオリエンテーション、住まいの情報セミナー、各種の広報、マスコミでの PR などを通して、私たちの活動の目的を広く世間に知らせ、賛同者を増やす。

(1) 各種活動を通じ、シーズネットの理念の普及・活動への賛同者を増やす取り組みの結果、年度末の会員総数は、1,014 名となりました。

併せて寄付促進に努めた結果 2,478,037 円の寄付金を確保することができました。

(2) 知恵袋講座の継続開催

全 12 回シーズネット研修室で開催 参加者延 333 名 (内一般市民 10 名)

(3) 住まいの情報セミナーの開催 (札幌市住宅管理公社からの受託)

全 4 回すべて札幌市民ホールにて開催 参加者延 252 名

(4) 北海道警察の全面協力による特殊詐欺防止と冬の交通安全セミナーを開催

・1 月 24 日札幌エルプラザ 参加者 85 名

(5) 新入会員オリエンテーションの充実

新入会員及び既存会員の再研修を兼ね、四半期に 1 度の周期で全 4 回開催しましたが、各期とも新入会員の 2 割程度の参加にとどまっています。

(6) 適切な情報公開

社員総会で承認後に活動報告書、活動計算書等を HP へ掲載するほか NPO 法の改正に準拠して財務諸表の公開も実施しました。

また、認定 NPO 法人に課せられている閲覧義務対象関係書類を、情報公開資料として整備しています。

(7) 団体会員の増を図る

ボランティア・ポイント制度を構築し、その運用の過程で業務提携等を模索し団体会員の増につなげる活動に取り組みましたが、年度後半での立ち上げで団体会員増は達成されていません。

2. 多様な活動の場の提供による「仲間づくり」の推進

会員の確保とサークル活動の質的・量的拡大、会員同士が結び付きやすい場の提供などに努める

(1) 各種の活動を通じ、会員確保に努めた結果、会員数 1,000 名台を確保することができました 会員の状況【資料一】

(2) サークル数を増やし、活動を充実させ地域や社会での活動に結びつけるとともに推

進会議との連携を一層密にします。サークル活動状況【資料—2】

- ・推進会議は毎月第2木曜日定例開催し、年間12回開催
- ・シーズネット合唱団の他団体とのコラボ発表会 5月31日 時計台ホール
- ・リコーダー入門の他団体とのコラボ発表会 10月30日 豊平館

(3) 支部活動の支援

支部の活性化に向けて、支部代表者と意見交換する場を持つとともに支部の現地に赴き、支部活動に協力しました。

- ・支部代表者会議開催 10月19日 シーズネット研修室
- ・函館支部総会に出席 5月20日 函館市上新町会館
- ・函館支部月例会議に出席 2月24日 函館市上新町会館

◎支部活動の状況 ・旭川支部【資料—3】 ・函館支部【資料—4】

(4) 会員の交流の場と市民への周知・啓蒙を図りました。

- ・会員交流会を5月29日社員総会後にテレビ塔ホールで開催（参加者64名）
- ・シーズネット祭りを9月13日札幌エルプラザで開催
参加者 全体261名（会員222名 一般市民39名）

3. 地域での「居場所づくり」の展開

地域に住む会員同士の交流の機会を増やすと共に小地域との結びつきにも積極的に取り組みました。

(1) 地域交流サロンこのはなの活動の充実

- ・毎週月曜日から金曜日の10時から16時まで開所
- ・年間利用者数 延2,817名（内有料利用者数1,971名）

(2) もみじ台管理センターの運営に協力

受付業務・図書館業務の担当者2名を継続雇用

(3) 札幌市サロン運営補助事業のサロン立ち上げの支援

- ・シニアサロン事業立ち上げ支援 事前相談 5件
- ・シニアチャレンジ事業申請支援 1件

(4) 公的住宅等を中心に孤立防止啓発の講演会等開催及び講師派遣

- ①住宅情報セミナー 7月2日 参加者78名
- ②住宅情報セミナー 9月18日 参加者60名
- ③団地サミット 10月6日 参加者約250名
- ④住宅情報セミナー 11月16日 参加者55名
- ⑤住宅情報セミナー 2月6日 参加者59名
- ⑥理事長への講演等講師要請が多数ありました

- ・道社協（4回）・札幌市社協（2回）・千歳市、石狩市、稚内市、余市町
- ・道老人クラブ連合会・太平洋興発セミナー・福祉NPO支援ネット他

⑦シニアの暮らしアドバイス講座の派遣要請が多数ありました

・ボランティア活動センター・たすけ愛ふくろう清田・北海葬祭(株)他

(5) 60 代会員の意見交換会の開催

札幌市内在住の 60 代会員を対象の意見交換会を 5 回実施しました。

提案された意見は、平成 31 年（令和元年）度の事業計画に反映させました。

4. 社会貢献活動による「役割づくり」の展開

地域貢献活動としての自主事業・受託事業の推進をより向上させるとともに、財源改善のため新たな事業展開に取り組みました。

(1) 高齢者住宅に関する受託事業

①北海道から受託 2 名体制で実施（6 月末で 1 名退職）

・サービス付き高齢者向け住宅登録業務
・セーフティネット住宅登録業務

②札幌市から受託 2 名体制で実施

・サービス付き高齢者向け住宅登録業務
・有料老人ホーム届出業務

③もみじ台管理センター運営協力事業受託

(2) 孤立防止ネットワークセンターとしての孤立防止活動の取り組み

①住宅情報セミナー等の開催 <再掲 3 の (4)>

②労働金庫の助成を受け、なないろサロン・シネマ開催

・7 月 24 日 札幌市厚別区もみじ台管理センター 参加者 61 名
・10 月 24 日 小樽市銭函おさんぽカフェ 参加者 5 名
・11 月 4 日 札幌市東区 NPO 法人ニルスの会 参加者 15 名

(3) 市民ボランティア事業に協力

①大通公園花壇づくり

・5 月～10 月の毎週木曜日花壇の手入れを実施 延参加者 212 名
・第 29 回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣賞を受賞

②森林づくりボランティア（緑と水の森林ファンド活用）

・野幌休養林の下草狩り 参加者 22 名
・創成川公園 ポット苗づくり 参加者 22 名
・定山溪国有林 植樹・森林観察 参加者 32 名
・森林講座（札幌エルプラザ） 参加者 16 名

③赤い羽根街頭募金活動に参加

・10 月 3 日 ヨドバシカメラ店前で街頭募金 参加者 10 名

(4) 中国帰国者支援事業の継続実施

・毎月 2 回厚別区もみじ台と手稲区前田で介護予防サロンを定例開催し、

延べ 420 人（内中国帰国者 306 名）の参加がありました

- ・北海道中国帰国者支援・交流センターが主催する「中国帰国者を知る集い」開催に協力

(5) 札幌市保養センター駒岡の文化講座支援

- ・初心者麻雀講座に会員を毎週水曜日に 42 回、延 168 名派遣
- ・脳活塾講座を年 3 回出前開催

(6) 「福祉サービス第三者評価事業」の評価活動を実践

- ・見積提案 5 件・・・1 件受注（札幌市の保育園）

(7) 認知症機能低下予防講座（脳活塾）の充実・拡大

- ・毎週月曜の午前・午後、水曜の午前に定例開催
延 75 回実施 延 973 人参加
- ・出前講座の要請が多数あり、札幌圏 10 回、市外 5 回出前講座を開催
- ・北海道新聞；火曜日の夕刊に「脳トレ」の記事を連載中
- ・北海道医療新聞社発行の「ケア」に脳活塾分校を連載中

(8) ボランティア・ポイント制度の構築

NPO 法の理念に沿った活動として、シーズネット版ボランティア・ポイント制度を試行実施し、ボランティア参加者 2 名、ボランティア活動延 9 回を実施しました。

(9) 傾聴ボランティア派遣事業の継続実施

- ・ボランティア 2 名、派遣先 2 か所 延べ 82 回派遣

5. 他団体とのネットワークづくり

(1) 助成金の活用

- ・前述の労働金庫の社会貢献助成金を活用
- ・NPO サポートセンター、公的機関等の補助金・助成金の情報をチェックするも継続的に活用できる制度は見出だせておりません

(2) 「あんしん住まいサッポロ」との連携

- ・問い合わせの取り次ぎ、情報誌の販売等継続的に連携

(3) 他の NPO 法人や民間団体との連携

- ・(株)UR コミュニティとの地域交流サロンの共働開催
- ・北海道住宅管理公社の団地サミットの開催支援
- ・札幌市住宅管理公社が開催する住宅情報セミナーの企画・運営を担当
- ・北海道大学の国際婦人交流会が主催する留学生向け「ガレージセール」への運営支援
- ・イオンが社会貢献活動として開催する「イオン・デー」活動に参加

(4) 鉄西地区町内会、平岸地区町内会との連携

- ・シーズネット事務所及びサロンこのはなが所在する両町内会に加入し、各種行事・

会議等に参加しています。

(5) 札幌市北区社会福祉協議会が実施する生活支援体制整備事業への参画

6. 事務局運営

(1) 各種規定の適正運用による事務管理体制の強化

- ・ NPO 法人・認定 NPO 法人として義務付けられている文書管理・定期報告等の厳守に努めています。
- ・ 規定類の維持管理、公開体制を適正に実施しています

(2) 組織運営体制に基づく担当分掌の適正遂行

- ・ 理事の役割分担、運営会議メンバーの分掌を整理し遂行しています

(3) ホームページで事業報告等を積極的に公開

- ・ 従来から公開を実施している活動報告、活動計算書のほか NPO 法の改正に準拠して財務諸表の公開も実施しています
- ・ 毎月発行するシーズネット通信のダイジェスト、セミナー・講演会、各種行事の開催を公開しています

(4) シーズネット通信の毎月発行を継続実施するとともに周知活動を広く実施

- ・ シーズネット通信を毎月発行し会員のほかマスコミ等関係機関に送付
- ・ 札幌エルプラザ、ちえりあ、札幌市民交流プラザ、北海道市民活動促進センター（かでの 2・7）、イオン等の広報ラックを活用

7. 各種会議の開催

(1) 第 17 回（平成 30 年）通常社員総会の開催

日 時 平成 30 年 5 月 29 日（火）13 時 30 分～15 時 30 分

場 所 札幌市民ホール 第 1・第 2 会議室

出席者 481 名（出席者 80 名 委任状 401 名）

(2) 理事会の開催

第 50 回 平成 30 年 4 月 28 日（土）於シーズネット研修室

第 51 回 平成 30 年 10 月 27 日（土）於シーズネット研修室

主な議題は、通常総会に上程する議案書の議決及び中間決算期における活動計画の進捗状況・活動計算書の承認の審議を行いました。

(3) 運営会議

運営会議は、業務理事及び事業担当責任者の 11 名が定例メンバーとして、NPO 活動の円滑な推進を期することを目的に、毎月 1 回、計 12 回開催

(4) スタッフ会議

事務局員が参加する会議で、運営会議の決定事項の報告、事務局主導の各種行事や連絡事項の周知徹底を図るため、毎月 1 回、計 12 回開催

1. 会員の組織状況(平成31年3月31日)

(1) 会員数

区 分		平成30年度末	平成29年度末	新規加入	退 会
会 員 総 数		1,014名	1,012名	196名	194名
正会員	個人	989名	987名	196名	194名
	団体	18団体	18団体	0団体	0団体
賛助会員	個人	7名	7名	0名	0名
	団体	0名	0名	0名	0名

(2) 男女別会員数及び平均年齢

区 分	平成30年度末	平成29年度末	新規加入	退 会
男 性	287名	290名	52名	55名
女 性	702名	697名	144名	139名
平均年齢	75.1歳	74.7歳	—	—

(3) 地域別会員数

区 分	平成30年度末	平成29年度末	新規加入	脱 会
札 幌	785名	799名	129名	143名
旭 川	124名	90名	50名	16名
函 館	58名	58名	12名	12名
その他地区	22名	40名	5名	23名

2. 役員名簿(平成31年3月31日現在)

役 職	氏 名	住 所
理 事 長	奥 田 龍 人	
統括副理事長	千 秋 憲 博	
副理事長 事務局長	山 根 勝 利	
理 事	青 木 基 成	
理 事	笠 谷 明 司	
理 事	西 原 桂 子	
理 事	吉 田 綾 子	
理 事	國 本 正 雄	
理 事	大 島 康 雄	
理 事	山 本 純 子	
理 事	宮 村 善 英	
監 事	篠 塚 正 徳	
監 事	小 野 忍	

※杉谷憲昭理事は、平成30年12月31日付で辞任しました。

サークル・グループ活動集計表

【資料-2】

No	サークル名	合 計			
		30年度		29年度	
		延回数	延人数	延回数	延人数
1	歩こう会	9	229	11	175
2	絵手紙教室	11	54	12	44
3	男の料理教室	11	191	12	212
4	お抹茶を楽しむ会	11	92	7	64
5	歌謡サークル	12	358	12	352
6	グランド・ゴルフクラブ	3	25		
7	五行歌	12	132		
8	ゴルフを楽しむ会	9	138	9	110
9	酒と語り場	11	166	12	147
10	シーズネット合唱団	24	1210	24	1326
11	初級川柳教室	12	44	9	38
12	シングルの会	14	353	13	204
13	ステップ&ステップ	25	522		
14	スポーツダンスライラック(サロン「森の声」)	16	90	6	44
15	たそがれ勉強会	23	193		
16	楽しいお花	11	66	12	65
17	楽しいシニア人生	10	269	6	131
18	楽しいリコーダー入門	24	314	23	253
19	短歌勉強会	12	64	12	59
20	ノルディック・ウォーキング	8	139	10	130
21	ハーモニカ・オカリナ同好会	17	274	23	421
22	パソコン勉強会	12	57	4	18
23	陽だまりの会	12	231	12	238
24	百聞会	12	319	12	319
25	ひよっとこ舞踊 (歌謡体操)	24	141	20	102
26	ボウリングサークル	1	27		
27	民謡を楽しむ会	12	93		
28	旅行サークル	5	67	5	55
29	わくわく同好会	4	39		
30	呼びかけ	3	8	4	25
31	囲碁を楽しむ会	29	191	39	177
32	映画を観る会			12	115
33	自然と健康を考える会	7	128	5	77
34	実用ふでの会	38	320	50	438
35	シニアの英会話	22	207	57	273
36	たべものクラブ	1	26	12	308
37	豊友会	21	212	19	277
38	南京玉すだれ	10	28		
39	マーじゃんクラブ	39	1545	48	2153
40	麻雀初級	25	987	51	2130
41	麻雀入門	86	3417	99	3810
	合 計	648	12,966	662	14,290

旭川支部活動状況(平成30年度)

事業名	事業内容	実施月日	開催場所	実施回数	参加人数
支部総会	総会	4月16日	ときわ市民ホール	1回	13名
支部役員会	定期的に支部活動方針検討	4～3月	ときわ市民ホール	12回	延102名
サークル活動	健康麻雀サロン	4～3月	旭川勤労者福祉会館	76回	延2442名
"	カラオケ&ランチ会	4～3月	シダックス	12回	延66名
"	ひまわりの会(歌の慰問)	4～3月	高齢者施設	7回	延22名
"	初心者カラオケ会	4～3月	シダックス	12回	延143名
"	太極拳教室	4～3月	旭川勤労者福祉会館	12回	延108名
"	ピンポン・ミニバレー	4～3月	旭川勤労者体育センター	16回	延245名
"	初心者将棋教室	4～3月	ときわ市民ホール	12回	延67名
"	皆で歌おう	7～3月	旭川勤労者福祉会館	5回	延70名
"	ボウリング	10～3月	ラウンドワン	5回	延45名
"	宿泊研修会	7/12・13	白金青少年交流の家	1回	25名
交流活動	酒と語り場	5～3月	『ぜん』他	6回	延88名
"	ランチ会	4～2月	『八島』他	6回	延90名
"	おひとりさまの会	4～2月	『二幸』他	7回	延57名
"	忘年会	12月5日	雪乃屋	1回	23名
"	シーズネット祭り	11月22日	ときわ市民ホール	1回	64名
"	カレーパーティー	2月20日	ときわ市民ホール	1回	12名
スポーツ例会	パークゴルフ	6～10月	東川町親水公園他	5回	延35名
"	ウォーキング	4～7月	塩狩峠他	8回	延14名
"	カーリンコン	10～2月	ときわ市民ホール	6回	延113名
研修・学習会	旭川大学看護学部生との交流	12月10日	旭川大学	1回	27名
"	『高齢者の住まいの話』講演会	2月6日	ときわ市民ホール	1回	6名
本部行事参加	支部代表者会議			1回	1名

支部活動の状況

①旭川支部

毎月定例役員会を開き、当月の行事スケジュールを決めて、サークル活動、会員相互の親睦とコミュニケーションを図る交流会のほか、健康増進を目的としたスポーツ例会や知識や経験を高める研修・学習会の取り組みを行いました。初めての宿泊研修会・旭川大学学生との交流会も行いました。

函館支部活動報告（平成 30 年度）

1. 平成 30 年度の役員体制

代表	大竹成三	事務局長	田岡拓	会計	柴田幸子	会計監査	金澤ゆり子・森口まさ子
----	------	------	-----	----	------	------	-------------

理事	布施良一・新保忠夫
----	-----------

2. 編集委員

大竹成三、田岡 拓、金澤ゆり子、津村 徹

3. サークル・チーフ

サークル名	チーフ	サークル名	チーフ	サークル名	チーフ
パークゴルフサークル	布施良一	話食の会	大竹成三	カラオケ愛好会	森口まさ子
マージャンクラブ	大竹成三	カーリンコン	布施良一	日曜マージャン	新保忠夫

4. 平成 30 年度事業・活動

事業・活動	内容	実施月日	実施場所	回数	参加者数
第 15 回支部定期総会	平成 29 年度事業報告平成 30 年度事業計画	5 月 20 日	上新川町会館	1	出席 37 名 委任 10 名
例会	前月までの活動報告当月、翌月の活動計画等	偶数月の第 3 日曜日	上新川町会館	6	席 153 名
役員会	事業計画の検討	第 2 水曜日	上新川町会館	12	出席 79 名
編集委員会	支部通信の編集会議	偶数月	上新川町会館	6	出席 19 名
支部通信の発行	平成 30 年 5 月 (No.87)～平成 31 年 3 月 (No.92)	奇数月	上新川町会館	6	全会員宅へ配布
函館市ボランティア連絡協議会「定期総会」	協議会加盟団体による前年度報告・新年度計画	5 月 27 日	あいよる函館	1	大竹 1 名
避難訓練	会館から新川グラウンド迄	6 月 22 日	上新川町会館	1	出席 28 名
西日本大豪雨共同募金活動	丸井前・ヨーカドー前	7 月 12 日		1	出席 6 名
会員募金活動	会員への呼びかけ	7 月 6 日～7 月 13 日	上新川町会館		募金額 15,460 円
脳トレセミナー		7 月 19 日	上新川町会館	1	出席 22 名
第 14 回 NPO まつり	野菜バザー	7 月 29 日	まちづくりセンター	1	延べ 21 名
第 5 回野菜バザー	上新川町の住民向けに格安・新鮮野菜の販売	8 月 3 日	上新川町会館	1	延べ 27 名
地域清掃活動	上新川町河川敷の清掃	10 月 5 日	亀田川河川敷	1	26 名
函館西警察署による講話	高齢者の交通事故防止	10 月 12 日	上新川町会館	1	20 名
日帰り小旅行	パークゴルフ・麻雀・宴会	10 月 22 日	恵山「恵風」	1	24 名
北海道新聞工場見学	工場見学と道の駅「なないろななえ」見学	11 月 12 日	北海道新聞北斗工場	1	15 名
特殊詐欺予防講座	消費者センター担当者	11 月 30 日	上新川町会館	1	27 名
社会福祉協議会「新年会」	市内の福祉団体との交流	1 月 18 日	国際ホテル	1	1 名
新年交流会	平成 31 年新年会	1 月 20 日	法華クラブ	1	33 名
函館市ボランティア連絡協議会「新年懇親会」	協議会加盟団体との新年交流会	2 月 9 日	マリエール	1	1 名

【活動費補助対象の事業・行事】

事業・行事	内 容	実施月日	実施場所	回数	参加者数
花見(観桜)会※支部主催	昼弁当とゲームで観桜	5月 1日	五稜郭公園	1	33名
マーじゃん大会 (マージャンクラブ主催)	春季大会	5月11日	上新川町会館	1	36名
	秋季大会	11月16日	上新川町会館	1	40名
マーじゃん大会 (日曜マーじゃん主催)	第7回大会	8月26日	上新川町会館	1	32名
	第8回大会	3月17日	上新川町会館	1	36名
パークゴルフ交流会	パークゴルフ大会&ジンギスカン交流	7月14日	陣川パークゴルフ場	1	16名
忘年会 (カラオケ愛好会主催)	楽しく忘年会	12月4日	まねきねこ中道	1	18名
第6回カーリンコン大会	団体戦	9月26日	上新川町会館	1	17名
第7回カーリンコン大会	団体戦	3月27日	上新川町会館	1	15名

【前記以外の事業・行事】

マーじゃん教室	初心者向けに実習講習	11月～3月	上新川町会館	5	8名
講話・研修等	介護の現場(介護老人福祉施設)から高齢者に伝えたいこと	4月15日	上新川町会館	1	29名 町会の人 4名
	歌声喫茶を開催	6月17日	上新川町会館	1	28名
	写経体験	8月19日	上新川町会館	1	21名
	こんなにあるんです 私の街の文化財	10月21日	上親川町会館	1	25名
	歌声喫茶を開催	12月16日	上新川町会館	1	17名
	シーズネットの歩みと これから	2月24日	上新川町会館	1	33名

【サークル活動】

サークル名	実施月	実施場所	実施回数	参加者数
パークゴルフサークル	4月～11月	近郊のPG場	12	延べ91名
マージャンクラブ	毎週金曜日	上新川町会館	52	延べ1498名
日曜マーじゃん	毎週日曜日	上新川町会館	43	延べ606名
カラオケ愛好会	4月～3月	まねきねこ中道	12	138名
話食(ランチ)の会	5月～3月	市内飲食店	6	50名
カーリンコンの会	4月～3月	上新川町会館	12	115名

貸借対照表

(平成31年03月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			8,873,797
未収金			2,663,755
仮払金			148,120
貯蔵品			213,300
流動資産合計		11,898,972	
2. 固定資産			
什器備品			113,745
電話加入権			15,000
出資金			30,000
固定資産合計		158,745	
資産合計	12,057,717		
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			1,869,199
未払消費税等			452,220
預り金			136,441
前受金			163,000
流動負債合計		2,620,860	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計	2,620,860		
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		7,721,409	
当期正味財産増減額		1,715,448	
正味財産合計	9,436,857		
負債及び正味財産合計	12,057,717		

財 産 目 録

(平成31年03月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	8,873,797	
自主運営事業手持ち現金		837,833
助成受注事業手持ち現金		244,530
北海道銀行札幌駅前支店		5,004,143
北洋銀行北7条支店		380,851
ゆうちょ銀行		2,406,440
未収金	2,663,755	
北海道建築指導課(サ付登録)		350,000
札幌市(サ付登録・有老届出)		1,782,000
日興美装工業(株)		291,600
札幌市介護支援専門員連絡協議会他		240,155
仮払金	148,120	
第三者評価調査費		46,500
サークル傷害等保険料		101,620
貯蔵品	213,300	
事務用封筒		213,300
流動資産合計	11,898,972	
2. 固定資産		
什器備品		113,745
電話加入権		15,000
出資金		30,000
固定資産合計	158,745	
資産合計	12,057,717	
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	1,869,199	
サークル傷害等保険料		202,820
3月分給与等 4/15払		1,166,713
各種費用未払額(消耗品、通信費他)		499,666
未払消費税等	452,220	452,220
預り金	136,441	
源泉税・住民税預り金		29,736
社会保険預かり金		106,705
前受金	163,000	
受講料翌年度分前受		163,000
流動負債合計	2,620,860	
負債合計	2,620,860	
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	7,721,409	
当期正味財産増減額	1,715,448	
正味財産合計	9,436,857	

活動計算書
(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 会員会費収入			3,051,000
2. 活動参加収入			2,523,019
3. 寄付金収入			2,478,037
4. 助成事業収入			5,578,336
5. 自主受注事業収入			12,983,082
6. 雑収入			1,643,125
経常収益計	28,256,599		
II 経常費用			
1. 事業費	18,341,089		
(1) 人件費		11,243,044	
人件費計			11,243,044
(2) その他経費		7,098,045	
厚生費			1,038,754
賃借料(家賃を含む)			1,230,188
消耗品費			622,926
水道光熱費			218,633
旅費交通費			1,219,096
租税公課			75,244
諸謝金			836,758
通信費			402,347
印刷費			54,540
委託費/支払報酬			620,303
その他の経費			779,256
2. 管理費	8,200,062		
(1) 人件費		0	
人件費計			0
(2) その他経費		8,200,062	
賃借料(家賃を含む)			1,699,458
消耗品費			771,630
水道光熱費			380,986
旅費交通費			2,200,832
租税公課			318,961
保険料			321,420
通信費			1,243,715
委託費/支払報酬			253,668
その他の経費			1,009,392
経常費用計	26,541,151		
当期正味財産増減額		1,715,448	
前期繰越正味財産額		7,721,409	
次期繰越正味財産額		9,436,857	

※ 今年度はその他の事業を実施していません。

財務諸表の注記

(第2号議案-4)

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NP0法人会計基準(2010年7月20日 NP0法人会計基準協議会)によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

定率法によっています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

2. 事業別経常費用の内訳

(単位：円)

	シズネット 合計	①管理部門	②事業部門	事業部門の内訳		
				③自主運営	④受注受託	⑤諸口
経常費用	26,541,151	8,200,062	18,341,089	2,891,913	15,300,555	148,621
人件費	11,243,044	0	11,243,044	0	11,243,044	0
給料手当	9,920,075	0	9,920,075	0	9,920,075	0
法定福利費	1,322,969	0	1,322,969	0	1,322,969	0
その他経費	15,298,107	8,200,062	7,098,045	2,891,913	4,057,511	148,621
会場費	292,249	46,161	246,088	130,730	115,358	0
会議費	37,629	8,556	29,073	18,915	10,158	0
厚生費	1,038,754	0	1,038,754	117,427	921,327	0
賃借料	1,851,854	1,066,122	785,732	152,538	633,194	0
消耗品費	1,394,556	771,630	622,926	543,158	79,768	0
水道光熱費	599,619	380,986	218,633	32,410	186,223	0
旅費交通費	3,419,928	2,200,832	1,219,096	987,153	231,943	0
手数料	128,494	103,301	25,193	525	22,668	2,000
租税公課	394,205	318,961	75,244	0	3,200	72,044
諸謝金	880,032	43,274	836,758	104,521	732,237	0
保険料	326,850	321,420	5,430	5,430	0	0
通信費/運搬費	1,646,062	1,243,715	402,347	81,878	320,469	0
諸会費	110,488	65,000	45,488	36,848	8,640	0
新聞図書費	77,642	34,998	42,644	13,847	28,797	0
印刷費	59,170	4,630	54,540	37,323	17,217	0
支払報酬	646,303	92,668	553,635	165,285	388,350	0
支払家賃	1,077,792	633,336	444,456	255,564	188,892	0
備品購入費	37,038	37,038	0	0	0	0
修繕費	470,889	457,000	13,889	13,889		0
委託費	227,668	161,000	66,668	0	66,668	0
雑費	506,308	209,434	296,874	194,472	102,402	0
償却費	74,577	0	74,577	0	0	74,577

3. 使途等が制約された寄付等の内訳

当法人の正味財産は9,436,857円ですが、そのうち指定されているものは有りません。

4. その他


ありません

監査報告書

平成31年4月20日

特定非営利活動法人 シーズネット

理事長 奥田 龍人 様

監事 篠塚正徳 

監事 小野 忍 

私たちは、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、平成30年度(平成30年4月1日から平成31年3月31日)の特定非営利活動法人シーズネットの業務及び財産の状況と事業報告書及び計算書類(財産目録、貸借対照表及び活動計算書)について監査を実施いたしました。

私たちは、理事の業務執行の状況に関する監査に当たっては、理事会に出席し必要と認める場合には質問を行った。また、財産の状況に関する監査に当たっては、帳簿や証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行いました。

監査の結果、法人の業務は法令及び定款に基づき適正に執行され、会計処理は一般に公正妥当と認められる会計原則に則って適正に処理されているものと認められました。

よって、私たちは、上記の事業報告書及び計算書類が、特定非営利活動法人シーズネットの平成31年3月31日をもって終了する事業年度の業務執行の状況及び同日現在の財産の状況を適正に表示しているものと認めます。

以上

(第4号議案)

平成31年(令和元年)度事業計画書(案)

1. 基本的な方針

私たち認定NPO法人シーズネット(以下「シーズネット」という。)は、創設者である岩見太市前理事長が掲げた「安心して豊かなシニア人生を創造すること」を使命として、「仲間づくり、居場所づくり、役割づくり」を活動の柱に据えて歩んできました。

そしてそれらの結実として「支え合い」の社会を実現しよう、というミッションを掲げて活動してきたところです。

さて、昨年度もこのミッションに向かって様々な活動を広げてきました。昨年度に始めたボランティア活動への取り組みを支援する仕組みづくり(ボランティアポイント制度)などは、その具現化の一步といえるでしょう。また、昨年度は、こうした活動が評価されて、札幌市条例指定NPO法人の継続認証も認められました。

また、昨年度は、シーズネットがどのような道を歩むべきなのか、様々な機会を通して会員の皆様のご意見を伺いながら検討してきたところです。

今年度は、そうした活動を踏まえ、さらに認定NPO法人としてレベルアップしていく年としたいと考えております。特に、会の存在意義であるシニアがはつらつと活動するための様々な新しい取り組みへのチャレンジと、仲間や賛同者を増やすための広報活動の強化などを重点的に取り組みたいと考えます。

会員が「仲間づくり、居場所づくり、役割づくり」を通して繋がっていき、それが社会参加にもなり、社会貢献にもなる、そんな一年でありたいと思います。

2. 事業計画

事業計画は、定款に定める事業内容に沿った形での策定が必要ですので、定款第5条と照らし合わせて提示します。

定款 第5条(事業)

この法人は、第3条の目的を達成するため、次の事業を行う。

(1) 特定非営利活動に係る事業

- ① 法人の目的に沿った各種の講演会、講習会、研究会等の開催事業
- ② 高齢者等のサロン・サークル等の開催運営事業
- ③ 高齢者の福祉向上、居住安定のための相談支援等の事業
- ④ 高齢者の認知機能低下予防のための研究等の事業
- ⑤ 異世代交流、子育て支援、施設や在宅支援などのボランティア派遣事業
- ⑥ 豊かな高齢社会の実現に向けた各種の調査研究事業
- ⑦ 介護保険法に基づく指定居宅サービス事業
- ⑧ 介護保険法に基づく指定介護予防サービス事業および地域支援事業
- ⑨ 福祉サービス第三者評価事業
- ⑩ 介護職員初任者研修の開催
- ⑪ その他、目的を達成するために必要な事業

(2) その他の事業

- ① 物品の斡旋及び販売
- ② 役務の提供

(1) 特定非営利活動に係る事業

①法人の目的に沿った各種の講演会、講習会、研究会等の開催事業

- 1) 知恵袋講座を充実します。会員の皆さんが講師を引き受ける講座をさらに増やします。
- 2) 住まいのセミナー（札幌市住宅管理公社委託事業）を引き続き開催します。
- 3) 「シニアの暮らしのアドバイス講座」をシリーズで行い、介護保険、住まいなどの勉強会を開催します。
- 4) 市民公開講座を年1～2回実施します。
- 5) 「団地サミット」など公的住宅等の共通の課題である孤立防止に向けての講演、シンポジウムなど開催します。
- 6) 「シニア提言の集い」を復活して、アクティブシニアの皆さんを応援します。 新

②高齢者等のサロン・サークル等の開催運営事業

- 1) サークルの数を増やすよう働きかけます。また、サークル代表の後継者の課題に取り組みます。
- 2) サークル立ち上げの相談窓口を設置します。
- 3) サークル活動を推進するため、月に1度、サークル代表者による推進会議を開催します。また推進会議と事務局との連携を一層密にするよう図ります。
- 4) サークル活動の発表の場及び市民への周知・啓蒙の場として「シーズネット祭り」に取り組みます。
- 5) サークル活動のPRに努め、サークルが他団体イベントに参加するなどの取り組みを推進します。
- 6) 「地域交流サロンこのはな」の活動の充実をはかります。
- 7) 厚別区もみじ台管理センターの運営に協力し、もみじ台地区の住民の地域支え合い事業に協力します。
- 8) 札幌市サロン運営補助事業に協力し、市民のサロン立ち上げの技術的アドバイスをを行います。
- 9) 札幌市で活動するサロンとの交流を深め、サロン活動の発表イベントを開催します（団地サミットの活用）。
- 10) 札幌市保養センター駒岡等で開催する文化講座を支援します。

③高齢者の福祉向上、居住安定のための相談支援等の事業

- 1) 北海道と札幌市から委託されているサービス付き高齢者向け住宅登録事業、および札幌市から委託されている有料老人ホーム届出事業について、作業体制を整備し、堅実な運営を行います。

- 2) 姉妹法人である「一般社団法人あんしん住まいサッポロ」と連携して、高齢者の住まいの情報誌の発刊・販売などの活動に協力します。
- 3) 札幌市の「空き家対策事業」に協力し、関係機関との連携に努めます。

④高齢者の認知機能低下予防のための研究等の事業

- 1) 高齢期の認知機能低下に備えて、認知機能低下予防講座「脳活塾」を開講していますが、さらに講座の充実と受講者の拡大を図ります。
- 2) マスコミの協力を得て、「脳活事業」の普及に努めます。
- 3) 全道各地での「脳活」活動に協力します。

⑤異世代交流、子育て支援、施設や在宅支援などのボランティア派遣事業

- 1) シーズネット版ボランティアポイント制度を普及し、ボランティアの育成・派遣に努めます。また、会員の特技や資格などを把握してボランティア活動などに役立つ仕組みづくりを行います。**新**
- 2) 高齢者向け住宅や施設などへの傾聴ボランティア「話し合いサポーター」の派遣事業に引き続き取り組みます。
- 3) 「大通り花壇づくり」や「森林づくり事業」などに取り組む会員を募り、環境整備のボランティア事業を引き続き実施します。
- 4) 北海道社会福祉協議会から委託を受けて実施している「北海道中国帰国者支援事業」を引き続き実施します。
- 5) 北大の留学生のためのガレージセールの実施に引き続き協力します。
- 6) 赤い羽根共同募金の街頭募金活動に引き続き協力します。

⑥豊かな高齢社会の実現に向けた各種の調査研究事業

- 1) シニアの社会参加やこれからの暮らし方に関する調査研究事業に取り組みます。**新**

⑦介護保険法に基づく指定居宅サービス事業

⑧介護保険法に基づく指定介護予防サービス事業および地域支援事業

- 1) 指定居宅サービス事業については安定的な事業運営を目指す環境に近く、当面見合わせます。
- 2) 地域支援事業については、札幌市の政策動向を見ながら総合事業の通所A型の実施について検討します。

⑨福祉サービス第三者評価事業

- 1) 「福祉サービス第三者評価」事業の評価機関として、評価活動を行います。今年度は3件の受託を目指します。

⑩介護職員初任者研修の開催

- 1) 介護職員初任者研修については、受講生の確保の目途が立たないため、当面見合わせます。

⑪その他、目的を達成するために必要な事業

- 1) シニア人生の多様なニーズに対応するため、他のNPO法人や民間企業とも積極的に連携して、課題解決に努めます。
- 2) 鉄西地区町内会、平岸地区町内会など、日ごろからお世話になっている団体との連携・協働に努めます。
- 3) 北区社会福祉協議会が推進する地域生活支援推進協議会に参加し、地域課題の解決に協力します。
- 4) イオンの黄色いレシートキャンペーンに登録し、ボランティア団体としての寄付を募ります。

(2) その他の事業

① 物品の斡旋及び販売

② 役務の提供

- 1) 今年度は、物品の斡旋及び販売については特に予定をしておりません。
- 2) 役務の提供については、当法人に依頼があった講演、研修等について対応していきます。

3. 運営計画

(1) 理事長の責務

- 1) 認定NPO法人として、適切な運営に努めます。
- 2) 認定NPO法人として、積極的な情報開示に努めます。活動報告、活動計算書、役員体制等の情報公開をホームページ等にて行います。
- 3) 組織運営体制に基づく担当分掌を決め、適正に遂行します。
- 4) 法人の目的の遂行のため、寄付金を募ります。

- (2) 運営会議
 - 1) 毎月、3役と担当理事、担当で運営会議を開催し、事業活動と収支活動を検討し、法人としての健全な運営に努めます。
 - 2) 運営会議で決定した事項を通信等で会員に開示します。
- (3) 会員支援
 - 1) 月に1度、サークル代表者による推進会議を開催し、適切なサークル運営に心がけます。また、会員交流のあり方などの検討を行います。(1)-②-3再掲
 - 2) 会員の困りごとに関する窓口を設置して、相談支援体制を創ります。新
 - 3) 会員交流の場として、「シーズネット祭り」、「会員交流会」を実施します。
 - 4) 札幌市内各区ごとに会員意見交換会を実施します。今年度は3区を目標に実施します。新
 - 5) 団体会員を増やすためにも、団体会員のメリット付与を検討します
- (4) 支部活動支援
 - 1) 函館・旭川支部活動を支援するため、活動費を支給します。
 - 2) 引き続き支部代表者会議を開催し、支部活動の在り方について支部代表者と検討する場を持ちます。
- (5) 広報活動
 - 1) シーズネットの活動紹介リーフレット新や活動紹介ビデオ新などの作成を通じて、新入会員のオリエンテーションを充実させます
 - 2) シーズネット通信の毎月発行を継続し会員へ送付する他に、公共施設の掲示ラックの活用、広報活動団体への送付をします。
 - 3) ホームページの活用等を通じてシーズネットの活動を広く周知する活動を継続して行ないます。また、ホームページのリニューアルを検討します。
- (6) 事務局体制
 - 1) 文書管理規則をはじめとする、各種規定の適正運用により認定NPO法人として適切な組織運営のための事務管理体制を強化します。
 - 2) 入退会の情報把握ができるように会員管理のあり方を検討します。特に退会の事情を分析し、退会者を少なくする取り組みを検討します。
 - 3) 引き続き、事務局の業務を担うボランティアを募集します。
 - 4) 認定NPO法人の継続認証に向け、事務作業を進めます。

平成31年(令和元年)度活動予算書 (案)

(第5号議案)

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 会員会費収入		3,040,000
2. 活動参加収入		2,650,000
3. 寄付金収入		1,000,000
4. 助成事業収入		5,517,000
5. 自主受注事業収入		13,317,000
6. 雑収入		1,565,000
経常収益計	27,089,000	
II 経常費用		
1. 事業費	19,107,000	
(1) 人件費		10,833,000
人件費計		10,833,000
(2) その他経費		8,274,000
厚生費		902,000
賃借料(家賃を含む)		1,348,000
消耗品費		204,000
水道光熱費		190,000
旅費交通費		1,265,000
租税公課		70,000
諸謝金		1,827,000
通信費		735,000
印刷費		45,000
委託費		690,000
その他の経費		998,000
2. 管理費	7,801,000	
(1) 人件費		0
人件費計		0
(2) その他経費		7,801,000
賃借料(家賃を含む)		1,750,000
消耗品費		780,000
水道光熱費		380,000
旅費交通費		2,200,000
租税公課		330,000
保険料		350,000
通信費		1,200,000
委託費		250,000
その他の経費		561,000
経常費用計	26,908,000	
当期正味財産増減額		181,000
前期繰越正味財産額		9,436,857
次期繰越正味財産額		9,617,857

(第6号議案)

理事・監事の選任（案）について

本年の通常社員総会の終結のときをもって任期満了となる理事及び監事の後任の選任について、次の者を推薦します。

理 事 候 補

奥 田 龍 人 (再 任)

千 秋 憲 博 (再 任)

山 根 勝 利 (再 任)

青 木 基 成 (再 任)

笠 谷 明 司 (再 任)

西 原 桂 子 (再 任)

吉 田 綾 子 (再 任)

大 島 康 雄 (再 任)

山 本 純 子 (再 任)

宮 村 善 英 (再 任)

川 尻 明 (新 任)

渡 邊 一 栄 (新 任)

監 事 候 補

篠 塚 正 徳 (再 任)

小 野 忍 (再 任)